

2018/6

ディスパロン AQ-021

水性塗料用レオロジーコントロール剤

ディスパロン AQ-021 は、疎水変性アクリル系重合物を主成分とする水性塗料用レオロジーコントロール剤です。塗料樹脂等のビヒクルとの相互作用により粘性を発現します。アクリル系レオロジーコントロール剤と会合型レオロジーコントロール剤の特性を併せ持つことで、塗料に対し優れた増粘、チクソトロピック性付与効果を有すると同時に、塗装後の過度な粘度上昇を抑制するといった特徴を有しております。

■性 状 (一般性状であり、納入規格ではありません)

主 成 分	アクリル系重合物
外 観	無色～淡黄色液体
有効成分	20%
溶 剤	エチレングリコールモノブチルエーテル
酸 価	28

■用途及び使用法

- ・ 塗料製造工程の各段階で添加可能ですが、最終調整段階でのディゾルバー等による分散を推奨します。
- ・ 標準添加量は塗料全量に対して0.5～3.0%（重量）です。
- ・ 添加により塗料のpHが低下します。十分な効果を得るには塗料のpHを7.5以上に調整する必要があります。必要に応じてアミンなどの塩基を用いてpHを調整して下さい。
- ・ 予め水／アミン水溶液でマスターバッチを作製し、添加することが可能です。
- ・ 分散温度は0～40℃の範囲で分散してください。
- ・ 常温（0～40℃）の屋内で保管してください。低温（0℃以下）で、重合物が析出する場合があります。その場合は使用前に20℃以上に加温して、析出物を溶解させた後にご使用下さい。

この製品の使用に関する当社の情報は信頼し得ると考えられるデータに基づくものですが、内容につきまして確たる保証するものではありません。製品の使用条件については弊社が制御出来ないからです。全ての製品は御需要家各位で適性を試験された上御利用頂くと共に全ての不注意や不適切な取扱いによる損害への補償は致しかねます。尚、安全性や取扱い方法についての詳細な内容が必要な場合には安全データシート(SDS)を御参照下さい。また本製品の御使用に当たっては御需要家各位で現存する特許に抵触しない事を調査して頂くようお願い致します。

© 2016 All Rights Reserved By Kusumoto Chemicals, Ltd.